

京都大学瀬戸臨海実験所振興会

水族館 月 報

NO. 126

1965.2月 (3月10日)

録 事

2月6日 観光バスよりの要請もあり、観光客の便座をはかる目的から、当館の閉館時間を下記の通り変更した。

1. 従来の開館時間

自 4月1日 至 9月30日 8時開館 17時閉館

自 10月1日 至 9月31日 9時開館 16時閉館

2. 変更した開館時間

自 3月16日 至 10月31日 9時開館 17時閉館

至 11月 1日 至 3月15日 9時開館 16時閉館

2月25日 稲垣弘技術員は高枝平泰と同時に大阪市の川島商学KKに就任することとなり、そのため本月28日付退職書を提出、経験を積んだ技術者を失うことは当館としては誠に惜しいが、本人の希望を認め、25日17時より寄宿舍で送別会を催す。

2月27日 荒瀬研究員は27、28日両日須磨水族館において閉館の飼育研究会に出席のため出張。

業 務 概 況

◎ 2月の入場者数

区 分		大 人	中 人	小 人	合 計
水族館遊法	個人	6589	39	193	6921
	団体	17072			17072
交通公社券売		4469			4469
近畿日本券売		1998			1998
日本旅行会券売		580			580
日通観光券売		73			73
明光バス券売		39753		170	39923
合 計		70634	39	363	71036
※ 券 計		677362	2122	17956	667440
※ 券 別		特別遊券等他		26	1100

団 体 : 一 般 315組 学 生 1組 合 計 316組

◎ 2月の事業収入

(今年度累計)

観光券売上金	1,650,180	17,913,758
窓口発売	663,700	7,963,413
交通公社クーポン	111,190	1,961,236
近畿日本ツーリストクーポン	50,086	200,929
日本旅行会クーポン	14,460	62,555
日通観光クーポン	2,049	8,070
明光バス観光券	808,695	7,717,555 ※
予金 積立金引子		78,988
手数料	60,213	548,538
絵はがき払下	12,490	539,990
パンフレット払下	1,000	59,950
南極生物報告払下	750	2,980
魚類払下		20,900
雑収入	711	31,576
諸施設改善積立金より繰入		4,551,567
災害時資金より繰入		168,760
合 計	1,725,344	23,917,007

※ 明光バス観光券未収分 大人券 @ 30 25360枚 @ 27 20372枚
 小人券 @ 174枚 @ 9 32枚

水族館経費

費目	金額	累計	備考
人件費	216,330	3,335,119	
会議費	1,650	110,199	
備品費	3,570	783,610	
消耗費	550,392	1,710,819	
事業費	209,061	1,262,816	
維持費	520	711,345	
その他諸費	92,857	1,557,963	
複立金	340,324	3,358,988	
予備費	—	—	
合計	1,414,704	12,830,859	

実験所経費

費目	金額	累計	備考
研究費	—	122,630	
奨学金	10,000	133,480	
備品費	90,213	128,363	
消耗費	—	—	
刊行費	—	351,900	
役務費	13,560	88,110	
合計	113,773	1,617,477	

伝物館経費

費目	金額	累計	備考
人件費	1,380	34,500	
備品費	—	—	
消耗費	—	—	
役務費	—	—	
合計	1,380	34,500	

臨時費

種	要	金額	累計
			4,725,987

支出合計

水族館経費	1,414,704	12,830,859
実験所経費	113,773	1,617,477
伝物館経費	1,380	34,500
臨時費	—	4,725,987
合計	1,529,857	19,208,823

◎ 2月末現在高

前月よりの繰越	4,512,697
今日の収入合計	1,725,344
今日の支出合計	1,529,857
現 在 高	4,708,184

◎ 前年度との比較

	1962	1963	増	減
入 場 者 数	66439	71036	+	4597

水族館 記 事

- ◎ 8日 瀬戸よりサザエ36個体が入槽。元来、白浜にはサザエは産しないが、以前業者が他地方より仕入れて蓄養していたさい、逃げ出したものが再捕されたものらしい。
- ◎ 12日 大阪金屋整備課員と大金下請けの清正業者により、冷凍機のクーラーおよびコンデンサーの内部を洗浄した。
- ◎ 同日 G水槽ガラス面の防水再工事が終り、内式フィルターをセットした。
- ◎ 14日 取入口附近の海水中にミドリムシの類が大量に発生し、そのため開放式のろ水槽は着しく詰つた。このスランクトンの群集は、その後8日向南浜附近に停滞し水族の観覧に大きな支障をもたらした。
22日には回復したが、今冬の寒波による被害も考慮合せると第1、第2水槽室にも循環装置の設置が望まれる。
なお、このミドリムシの類の標本を横浜大学福島博氏に送り同定を依頼した。
- ◎ 20日 島島附近で曳網採集したヒメイカ10個体が入槽。No.23の小バットに展示した。このヒイカは案外人気があり、翌日から餌（アナハゼの稚魚を生きだまま手える）にもついた。
- ◎ 27日 岡参見町里野漁業組合よりタイマイ（甲長60cm）1個体が入槽。寒さのためかなり弱つていたが、何とか回復する見込みである。
- ◎ 28日 堺浦より本年初のタカアシガニ2個体（雌1、雄1）が入槽。G水槽はその園目をとりもどした。

◎ 2月の採集作業

日 時	採集場所	方 法	人員	主な目的
8日 夜間	南浜防波堤附近	磯採集	1名	ウニ類
10日 午盾	〃	〃	2	エビ類 アメフラシ類
20日 午盾	島島周辺	曳 網	2	カミクラゲヒメイカ(海洋観測採集)
24日 〃	江 津 良	磯採集	2	ミズハゼ、ヒライソガニ
25日 〃	南浜防波堤附近	〃	1	ウミウシ類

◎ 主な採集水族名

魚類： ヒビギンボ アゴハゼ ミズハゼ アサヒアナハゼ クジメ

無脊椎動物：カイウミヒドロ カミクラゲ アシナガEエビ サラサエビ イソカニダマシ
オウギガニ ヒライソガニ アメフラシ アマクサアメフラシ フウセンウミウシ
クモガタウミウシ ミスガイ ヒメイカ アカウニ バフンウニ

◎ 主な購入水族名

魚類：ナマカザメ ガンギエイ クロアナゴ ウツボ ブリ イズスミ ミギマキ
メガネウオ ミシマオコゼ ニサダイ カワハギ ウミスズメ オニカサゴ

無脊椎動物：セミエビ ウサワエビ タカアシガニ コウイカ サザエ ハナウミシダ
オオアカヒトデ マナマコ

◎ 2月28日現在、飼育中の動物は、総計232種3420個体以上で、その内訳は次の通り。このうち観覧水槽に収容展示中の動物は230種3350個体以上。

ヒドロ虫類	3種	Eエビ類	14種	ヒトデ類	7種
ヤギ類	4種	ヤドカリ類	5種	クEヒトデ類	1種
ウミエラ	1種	カニ類	18種	ウニ類	4種
イリギンヤク類	8種	アメフラシ類	7種	ナマコ類	5種
インサゴ類	3種	ニ枚貝類	7種	ホヤ類	4種
ハナギンヤク類	1種	巻貝類	18種	軟骨魚類	11種
ホウキムシ類	1種	ヒザラガイ類	1種	硬骨魚類	98種
多毛類	1種	イカ類	2種	カメ類	3種
カブトガニ類	1種	タコ類	1種		
フジボカマテ類	4種	ウミシダ類	2種		

資 料

◎ 2月の気象 (09時観測)

第1水槽室 (水温 比重は No.24水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数：23	9	8	6
空 温 (°C)	$\frac{6.2 \sim 9.8}{8.0}$	$\frac{8.4 \sim 11.9}{10.3}$	$\frac{9.0 \sim 12.6}{10.0}$
水 温 (°C)	$\frac{10.00 \sim 11.80}{10.79}$	$\frac{10.88 \sim 12.60}{11.72}$	$\frac{12.42 \sim 14.12}{12.85}$
比 重 (415)	$\frac{25.32 \sim 26.25}{25.64}$	$\frac{25.67 \sim 25.90}{25.80}$	$\frac{25.82 \sim 25.92}{25.86}$

新 館 (水温)

H水槽 (°C)	$\frac{9.2 \sim 11.8}{10.7}$	$\frac{11.2 \sim 12.4}{11.7}$	$\frac{10.6 \sim 12.8}{12.0}$
T ₈ 水槽 (°C)	$\frac{9.4 \sim 12.0}{10.7}$	$\frac{11.3 \sim 12.2}{11.8}$	$\frac{10.5 \sim 13.0}{12.1}$

取 入 口

水 温 (°C)	$\frac{9.82 \sim 12.22}{10.98}$	$\frac{11.60 \sim 13.40}{12.41}$	$\frac{12.64 \sim 13.80}{13.28}$
比 重 (°15)	$\frac{25.44 \sim 26.15}{25.67}$	$\frac{25.32 \sim 26.01}{25.74}$	$\frac{25.79 \sim 25.96}{25.83}$

来 訪 録

- 2月7日 徳島バス(鳴門水族館)三木真吾常務取締役並に市尾裕南発室員は視察のため来館
- 2月13日 玉野海洋伝物館・栢原繁夫水族館飼育主任は、冬季における水族の管理につき視察のため来館
- 2月24日 NHK玉井勇夫プロデューサー外カメラマン一行は、カメラ風土記の紀南の部の紹介のテレビ撮影のため来館

昭和38年2月10日 (No 126)

編集兼 宮 地 伝 三 郎
 発行者
 発行所 瀬戸臨海実験所振興会
 和可山県 白浜町
 瀬戸臨海実験所内
 (Tel 白浜温泉 515)

